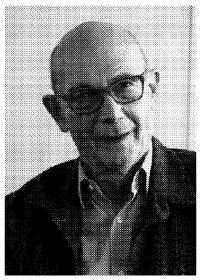
WTO機能不全の危機 識者に聞く

世界貿易機関（WTO）の「最高裁」にあたる上級委員会のメンバー（定員7人）の2人の任期が10日で切れ、残りはわずか1人と、審理に必要な人数を下回る。加盟国が上訴した案件の審理は事実上できなくなり、通商紛争の解決機能が停止する。ポイントや今後の対策を識者に聞いた。

委員選び、多数決方式に

前事務局長

パスカル・ラミー氏



Pascal Lamy フランスの経済官僚などを経て1999年から欧州委員（通商担当）。2005年から13年までWTO事務局長を務める。

――米国が一方的に上級委員の補充や再任を拒否し続けています。

「容認しがたい脅迫で、国際関係でやってはいけないことだ。判決内容とし、何をしたいのかを明確にすべきだ。おまけにWTOの予算案も認めない。米国は何を懸念しているのか。米国は何を要求し、何を脅しているのか。制度自体のどちらに不満なのか。米国は何を懸念しているのか。制度自体のどちらに不満なのか。米国は何を懸念しているのか。制度自体のどちらに不満なのか。米国は何を懸念